

# 帯山与兵衛

[ 8代：？-1878年、9代：1856-1922年 ]



店舗の外観

< 海外万博の主な受賞歴 >

1883年：アムステルダム万博（銀牌）

1888年：バルセロナ万博（銀牌）

1889年：パリ万博（銀牌）

< 国内の主な受賞歴 >

1875年：京都博覧会（進歩銀牌）

1881年：第2回内国勸業博覧会（褒状）

1882年：京都博覧会（有功銅牌）

1884年：京都博覧会（進歩銅牌）

1885年：京都博覧会（進歩銅牌）

帯山は江戸時代後期に禁裏御用も務めたことのある京都栗田口の名家で、錦光山家、安田家と共に京都栗田焼を代表する窯元です。5代は青磁の名手、6代は栗田での彩画陶器の生みの親と多くの活躍をしました。9代・帯山与兵衛は京都五条坂にある清水家に生まれ、1878年に8代が亡くなると清水家から帯山家の養子になり、9代を襲名しています。京薩摩の色絵金襴手や七宝焼を手がけ内外の展覧会で多くの受賞歴があります。1890年の京都美術博覧会、1892年の京都市美術工芸品展では審査員も努めました。1894年に栗田口窯に廃し、京都南部・八幡にて南山焼を興しました。

